

宛先

# ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 89

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>  
<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成29(2017)年7月28日

## 平成29年度 第1回 低平地研究会運営委員会の開催

4月28日(金)の午前10時30分から佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室において、低平地研究会平成29年度運営委員会が開催されました。

平成28年度の活動報告、決算に関する説明、平成29年度の活動計画と予算案が議論されました。会議の中で、活動に関する外部へのアピール力強化や、県外企業との連携の必要性などが話し合われました。



## 平成28年度低平地研究会活動報告会1 特別講演会の開催

4月28日(金)の13時から、佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室にて特別講演会が開催されました。会場には低平地研究会員や一般市民の方など52名の方が来場されました。今年度は、東京大学大学院工学系研究科の西村幸夫教授を講師としてお招きし、「低平地に立地した佐賀城下町の個性について」と題してご講演いただきました。



西村幸夫教授

佐賀城の堀と水路網、そしてこれらに平行して続く長崎街道の位置関係は他では見られない特徴であるとのことでした。講演では日本各地の城下町との比較をしつつ佐賀城下町の特徴を解説していただきました。

## 平成28年度低平地研究会活動報告会2 各部会活動報告会の開催

特別講演会の後、専門部会からの活動報告が行われました。冒頭では、三島運営委員長から運営委員会の内容について会員のみなさまへ報告されました。その後、各専門部会長から平成28年度の活動報告ならびに29年度の活動予定について説明がありました。報告会は学内外から多くの方に参加していただき、滞りなく終了することができました。低平地研究会では本年度も各種活動を実施しますので、会員のみなさまのご参加をお待ちしています。



## 参加報告 建設技術フェア2017

6月14日から15日に開催されたSAGA建設技術フェア2017に末次大輔准教授が参加されました。このイベントは、産・学・官の間で建設分野における技術の情報交換を行い、新技術の開発・導入を促進するとともに一般の方へ業界の魅力や社会資本整備の必要性を認識してもらうために行われ、今年は1,888名の参加者が訪れました。低平地研究会からは地元の企業や行政機関との共同研究などについて紹介するプレゼンテーションならびにブースを出展しました。



## 地域創生専門部会活動

### 勉強会実施報告

平成29年2月1日に「大川市の将来構想とふるさと納税の使途について」、3月9日にうきは市で「うきは市の将来構想とふるさと納税の使途について」と題して勉強会を行いました。それぞれの勉強会で「大学の地域講演と地方創生」の意義と実績についての説明や「三井住友銀行の経験と市への貢献のあり方」の説明を始め、各市の今後の政策に反映するための議論が行われました。

## 地域創生専門部会活動

### 冊子刊行『佐賀とは何か? II』

「佐賀とは何か?」の第二巻が刊行されました。古代の有明海の状態を背景として、徐福伝説や古湯の淀姫神社と大川風浪宮との関係や佐賀や有明海の周辺域と神崎荘園との関係についての物語、佐賀藩の鍋島閑叟公の財政改革の話が説明されています。

### 低平地研究 No. 26 の発行

低平地研究 No. 26 が6月に発行されました。今号の特集では、「地理情報システム (GIS) の応用」というテーマで記事がまとめられています。また、低平地沿岸海域研究センターで行われている最新の研究成果も掲載されています。

本誌には特別会員が執筆も掲載されますので、ご寄稿をお待ちしております。



### 開催案内

#### 地盤工学会九州支部 佐賀・長崎地区講習会

日時：8月4日（金）13:30～17:00

懇親会 18:00～20:00

場所：佐世保市中央公民館 講堂

(佐世保市常盤町6-1 サンクル4番館1F)

参加料：1000円

参加申し込み：(当日参加も可能です)

長崎大学大学院工学研究科システム科学部門 杉本

FAX: 095-819-2627

E-mail: s-sugi@nagasaki-u.ac.jp

主催：地盤工学会九州支部

共催：低平地研究会ほか

会員 特別会員

動向

### 朝日テクノ株式会社

朝日テクノ株式会社では、佐賀県内の建設コンサルタントの一員として、社会資本整備（公共事業）に取り組んでいます。その中で、平成29年度より生産性向上を目的として、ICT技術を活用する取り組み『i-Construction』の取り組みを図っています。地上3Dスキャナーによる点群データやドローン(UAV)の空撮を活用し3次元モデルによる、設計・施工計画、維持管理への活用に取り組んでいます。



### L T I ジャーナル Vol. 19、No. 1 の発行

英文機関紙「Lowland Technology International」Vol.19、No.1が発行され、7編の論文が掲載されています。

タイトル	著者
Three dimensional (3D) failure pattern of flexible pile due to lateral cyclic loading in sand	M. F. Awad-Allah, N. Yasufuku and S. Manandhar
Effect of bamboo leaf ash addition in cemented bamboo chips-sand soil mixture	S. Ismanti and N. Yasufuku
Hydrological assessment using stable isotope fingerprinting technique in the Upper Chao Phraya river basin	A. Putthividhya and J. Laonamsai
Characterization based on-street parking management in shopping area of a developing country: A study of Dhaka New Market, Bangladesh	F. Reza, A.N. Kakon and K.A. Asad
Impacts of ideological trends of renaissance architecture on royal garden design of Qing Dynasty, China: A Lowland and Wetland case of the Old Summer Palace (Yuan Ming Yuan)	X.M. Zhao, Y. Lu, J.R. Shi, H. Liu, Y. Chen, Z. Wang and K. Hokao
Mitigations of flooding and soil erosions geo-disasters in Thailand and Laos due to climate change: From Mountains to Lowlands	D.T. Bergado, S. Chaiyaput, P. Voottipruex, T. Hino and N. Chanmee
Bugis local wisdom in the housing and settlement form: An architectural anthropology study	A. Akil and W.W. Osman

### 編集後記

今年度も各部会で活発な活動を行う予定ですので、今後ともよろしくお願いたします。(森田)

編集：森田 (佐大:ss5263@cc.saga-u.ac.jp)、江頭

-お問い合わせ-

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1

佐賀大学低平地沿岸海域研究センター